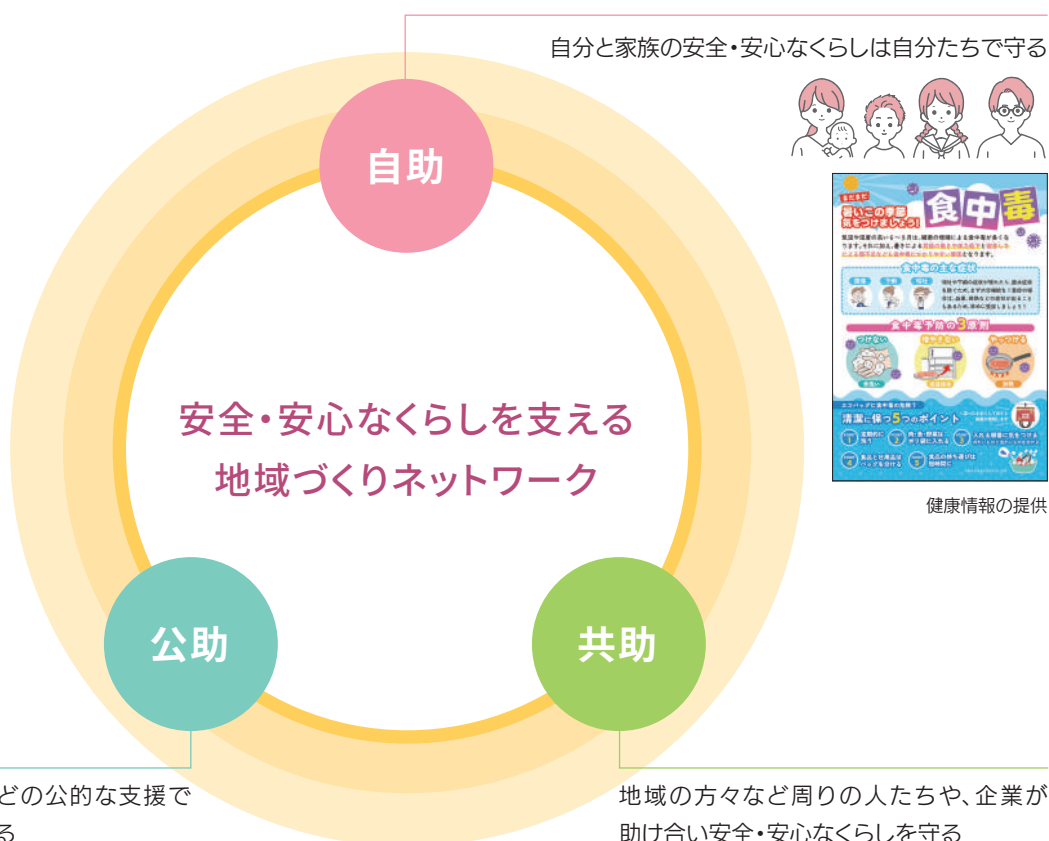


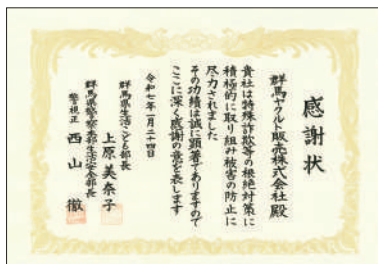
「共助社会の担い手」として

共助社会で私たちにできること

私たちは「共助社会の担い手」として、健康と美のお届けを通して地域の方々と助け合いながら、安全・安心に暮らせる地域づくりを行っています。「自助」に対しては、ヤクルトのお届けと共に健康情報の提供を行い、自分たちと家族の安全・安心な暮らしを守るための啓発を行っています。また「公助」と「共助」をつなぐ活動に力を入れ、自治体や警察・消防、各種団体と連携し、安全・安心な暮らしを支える地域づくりネットワークの円滑な運用を目指しています。



自治体や警察・消防などの公的な支援で安全・安心な暮らしを守る



特殊詐欺等の対策協力に対する感謝状



火災予防運動広報活動に対する委嘱状



地域の方々など周りの人たちや、企業が助け合い安全・安心な暮らしを守る



公助と共助をつなぐ

地域包括連携協定を締結して、協働による地域づくりを推進し、あらゆる分野で安全・安心な暮らしに向けた相互連携を行います。

2024年度までに1県10市8町7村3団体と締結



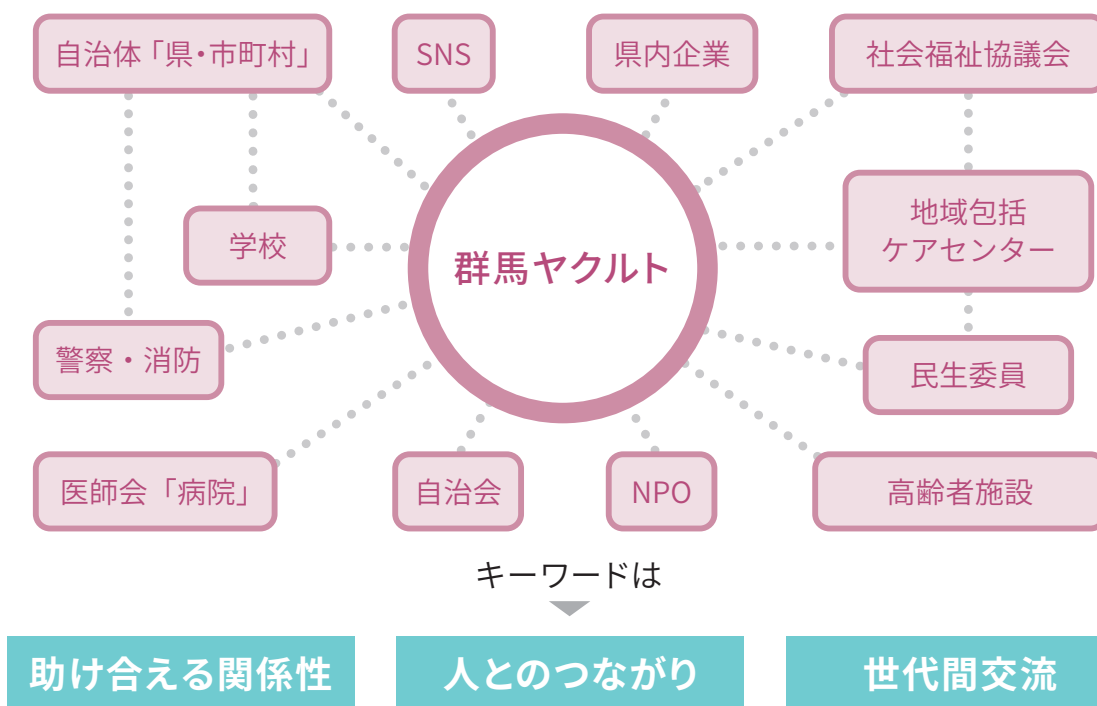
群馬ヤクルトのビジョンについて

ヘルスケアカンパニーへの進化とプラットフォーム型ビジネスモデル構築

ヤクルトの自律性・主体性・独自性を保った「ヤクルト・プラットフォーム」。地域に生きる人々の生活の質の向上、地域課題の解決に寄与できる事業、サービスの場を、地域社会の諸団体との「つながり」を通じて提供します。

◆ プラットフォーム型ビジネスモデル

ヤクルトは、地域社会における共助の担い手として、地域の皆さま、企業、自治体と多層的かつ多面的なつながりを築きながら、社会課題の解決に取り組んでいます。これらのつながりを基盤として、持続可能なネットワークの形成やコミュニティの創出、新たなサービスの開発を推進することで、人々の健康維持と生活の質の向上を支援します。私たちは、地域社会と共に成長し、誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくりに貢献するプラットフォームの確立を目指してまいります。



ビジョン2035
「共助社会の担い手になる」
乳製品人口比20%を目指して

2021年度より中期経営計画を策定

群馬ヤクルトは、ヤクルトグループ創業100周年・群馬ヤクルト創業80周年を迎える2035年をビジョン実現の年と定めた。目指す姿は「共助社会の担い手になる」乳製品人口比20%を目指す。ビジョン実現のために、2021年度を新創業元年と位置付け、2035年までを5つのステージに分け、3年ごとの中期経営計画を策定した。

一般社団法人 群馬県ポールウォーキング協会設立

群馬県内でのポールウォーキング普及と健康増進を目的に、2024年3月25日に一般社団法人群馬県ポールウォーキング協会を設立しました。群馬ヤクルトが協会の事務局を担っています。



一般社団法人
群馬県ポールウォーキング協会

ホーム
ページ



設立目的

ポールウォーキングの普及・啓発・教育活動を通じて、県民の心身の健康の維持増進を図ると共に、ポールウォーキングを核とする健康サービスの新たなコミュニティビジネスを創出・展開することで、地域社会の課題解決に貢献する。

運営体制

(一社)日本ポールウォーキング協会認定

《(一社)群馬県ポールウォーキング協会委託コーチ》

◆ 当協会資格保持者

認定資格	資格保持人数
マスターコーチプロ	2名
アドバンスコーチ	2名
ベーシックコーチ	4名

新聞掲載



サークル・教室



- エンジョイポール様名
- 六郷長寿センターサークル
- 中居ポールウォーキング
- 沼田ハッピーポール
- ひまわりなごみポール
- いーすとポールクラブ
- 総社町5号公園教室
- しきしま老人福祉センターサークル
- おおとも老人福祉センターサークル
- 前橋江木町サークル



2024年11月27日、ぐんま総合スポーツセンターにて開催されました。



93名



会社データ

◆群馬医療福祉大学
研究プロトコル



一生涯のパートナー

一生涯のパートナー

第一生命



学校法人 昌賢学園

群馬医療福祉大学

群馬医療福祉大学短期大学部

一般社団法人群馬県ポールウォーキング協会設立1周年おめでとうございます。日本ポールウォーキング協会といたしましては初めての正式な支部設立になります。群馬ヤクルト販売株式会社様のポールウォーキングの普及、啓発、教育活動を通じて群馬県民の心身の健康維持増進を図るとともに、ポールウォーキングを核とする健康サービスの新たなコミュニティビジネスを、創出、展開することで、地域社会の課題解決に貢献することを目的とする。この理念に当協会の名誉会長安藤邦彦、代表理事柳澤光宏とも深く共感いたしまして支部設立に全面協力いたしました。現在マスターコーチプロ2名、アドバンスコーチ4名、ベーシックコーチ11名のコーチ陣を育成され、群馬県内に10か所の自主サークルを立ち上げられました。1年での実績の大きさに驚きますとともにポールウォーキングの広まりを実感いたします。今後とも、ポールウォーキングの普及を通じて群馬県民の皆さまの心身の健康に寄与されることを期待いたします。



一般社団法人
日本ポールウォーキング協会
専務理事
水間孝之 様

部門紹介

Voice会議

毎月1回、全部門の管理職が参加して、お客さまや現場の従事者から寄せられた生の声(Voice)を共有し、その声をもとに、アイデア交換や課題の抽出を行っています。その場で回答が難しいものは、各部門で持ち帰り、次の会議で進捗を報告しています。

2024年度実績

◆ 集められた声

1,131 件

従事者の声

◆ 倉庫内の夏の暑さ対策について

🗨️ 従事者の声



本店倉庫内では扇風機を活用していますが、このところの暑さは尋常ではありません…

🗨️ DX推進部の回答

(株)ヤクルト本社からクールファンベストを紹介されたので、試験的に使用をお願いします。



クールファンベストを着用

🗨️ 従事者より返答



倉庫担当者で着用しました。外気が入ってくるので、冷蔵庫やエアコンの利いた車両の運転中はとても涼しく感じます。屋外では熱風が入ってきますが、汗が気化熱となるので体温が下がるのではないかと思います。

クレーム予防推進会議

クレーム予防推進会議では、会社へお問い合わせいただいた、お客さまの声を分析し、対応策を考え、共有しています。今後も、会社全体でお客さまサービス向上を目指していきます。



お申し出件数

全体 **864** 件

◆ 宅配サービス部

◆ 直販サービス部

382 件(前年度:383件)

482 件(前年度:507件)

※2025年2月末現在

ボイスの時間

部下の成長支援を目的とした、部下のための時間です。対等な人間同士であるという姿勢で臨み、上司と部下がお互いに何でも話せる関係の構築を目指すものです。

実施目的

部下と上司の1対1の対話を通し、以下の2点を目的とし実施します。

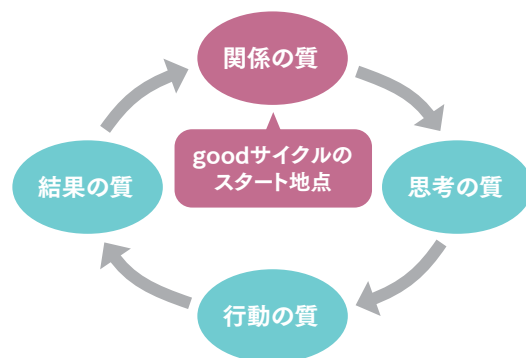
1. 部下との関係構築
2. 部下の成長支援

「ボイスの時間」基本ルール

- 一人の部下に対し、月に最低1回以上、30分間で行う。(ただし30分以内厳守)
- 必ず就業時間内で行う。
- 実施場所として、社内会議室の他、Zoom等を利用したオンラインや、社外のカフェやファミレス等での実施も可とする。

成功循環モデル

「成功の循環(Theory of Success)」は、マサチューセッツ工科大学のダニエル・キム氏によって、提唱されたモデルです。周囲との関わり方やコミュニケーションといった「関係の質」が高くなると、自然と考え方も前向きになり、目的意識が高まって「思考の質」が上がります。それが人々の積極性や主体性といった「行動の質」を高め、成果が生まれて「結果の質」につながります。すると、ますます関係の質が高くなる、といった循環を指しています。「ボイスの時間」は、この「関係の質」向上の一環として実施しています。



「ボイスの時間」実施後アンケート

◆ 全体満足度

■ 大変満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満

